曲亭琴童著
一勇齋國芳画

假名讀八犬傳

第二十三編

東都書肆
文溪堂梓

へ13
37

へ13
3701
18

櫻花紅葉我双心亟尤し讃よ。賀我季鶴ぬしゞ「双べう系
高ゆびの為少まよ緑光せむ百年ゆ考中山毛の秋」と添れう
年こ歳々出板の。合巻ゆの花同じ〻うゆ。吉野ゆ櫻花奉西
の紅葉。一所よりもたら大江戸の花ゆ彩繪の摺物標紙。
作意の丹味よ實我結ぶ何是疎ゆ中よ。不佞ゞこゝ
深山木ゆ。月我歡び兎ゆ。ん口よ味ゆ花ハ作ゆ実よ。ゆれど有蟄
よのこ唐祖文の色香よ。なゆ耕ゆ此合巻。実の生る木ゆ
花より動き。ゆうよ学ぶ手入ゆ大事。と朝ゆ夕ゆ怠慢ぐ。
優曇華十年の花咲く考我。彩の鳥手ゆ飛ばなうる

安政三丙辰年春吉日新板

曲亭琴童誌

箙大刀自
琴童
題詠
人の
稲戸
津衛
由充
琴童
詠由充
馬加蠅六郎
卿武

壮

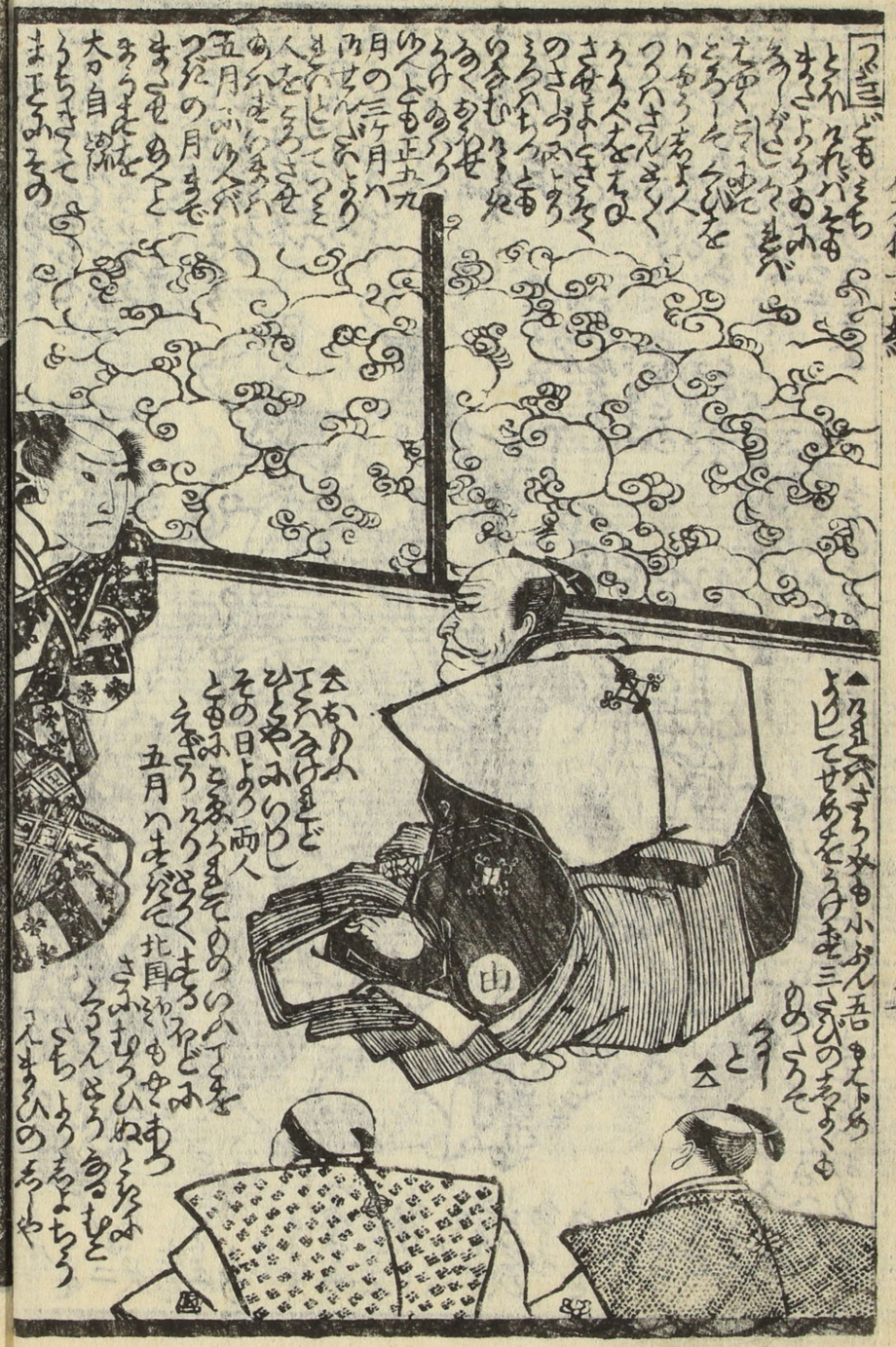
小

荘

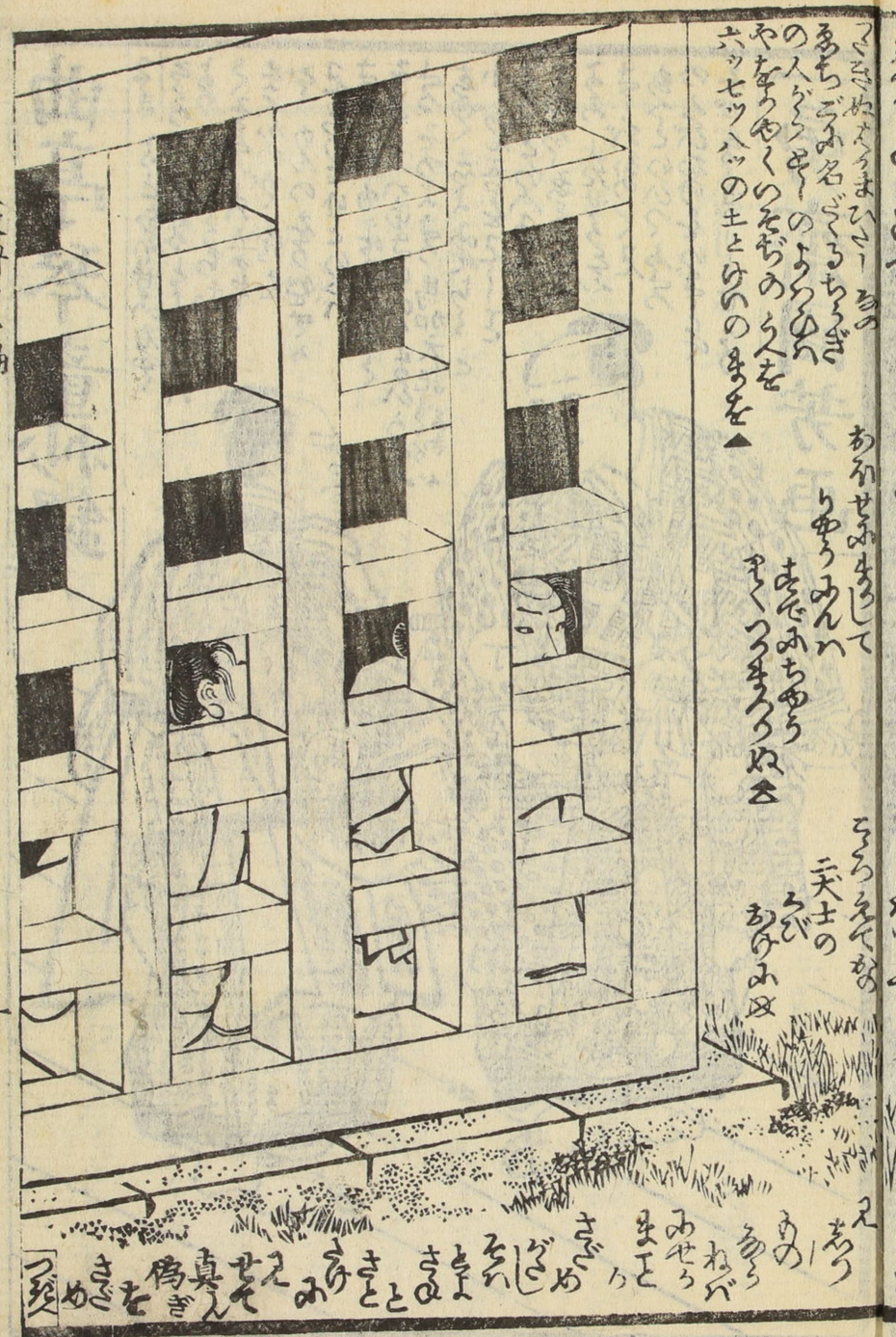
小

由
萩

小
壮



つゞき



曲亭琴童抄録

つぎ　よとあれせふたあ
こころをそるとよさのい
よろこころふるもむひ
くをまぶ〜へ五ヶ年し
ゆくかのぐと彩を
ぐろめんのをりなぐろ
又ちろてひとのくべ
さとよみもたそいぐく
そまぐ〜ハあさみのぐもひろこふ
ろるそのよさろ馬加大記ぎが
ちあくちよみてちろこと
小ぶん五を又〜と
あろとのへみのよろ
ころろ〜ちこそ
よろ〜たせろこん
さ〜ぐちのく又
ちくといひつふろ
のくびあけをのぐとと
たがまくさ〜よせろ

一勇齋國芳画

假名讀八犬士傳

自初編　至三十七編

去年文政六加ろ　焼亡し　暫く沙汰なし　此
ごろ　ようやく　出版　ありて　愛読
の方々　多し　文溪堂　又　ねがひ　ていせ
ん　編　ようやく　刻　成　ありて　前編
爆失の分　再板　ありて　売弘　業　仕
候　編　ようやく　成　ありて　一年　六度
出板　ありて　製本　致　殺　版
元治紀元甲子夏　東都　蔦屋重三郎

假名手本八犬傳

二十之編

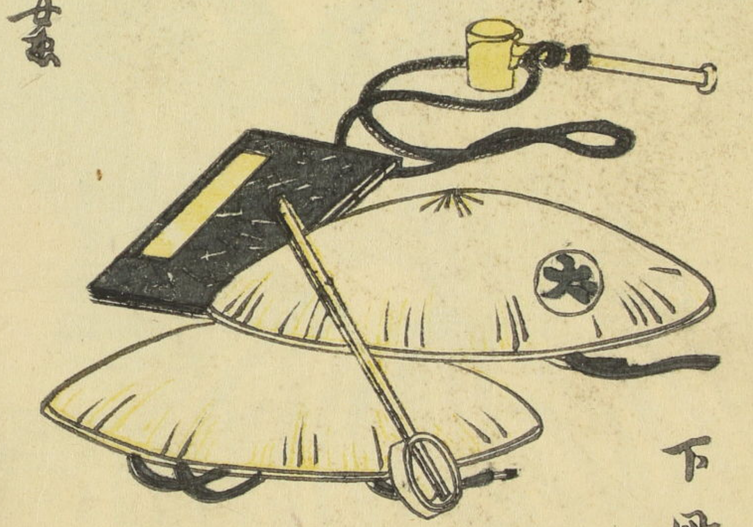
上冊

曲亭馬琴作
一雪為國芳画

高名与筆八犬伝考之
千三編
上冊
曲亭秀章著
一勇斎国芳画
下冊

八犬傳廿三編

曲亭馬琴著
一勇斎国芳画



下冊

つぎ

上
次

荘
小

馬
丁

馬
丁

丁
馬

七葉四郎
吉原仮宅 ちっぽけ惚れ 四十五編 柳亭種彦作
四十六編
四十七編 恵斎芳幾画

ちっぽけ八犬傳 十八編 假名垣魯文録
三十編 新震楼芳幾画

二世仮名垣魯文 紅葉亭露伴 山吉春人作
野村胡堂

柳春秋色櫻 近刻 恵斎芳幾画

地本草紙問屋 浅草茅町 廣岡屋幸助版

琴童抄録 國芳圖画

家傳神文湯 一包代 白丸
精製奇應丸 大包代金弐朱中包代 五分小包五分
熊膽黒丸子 一包代 五分
婦人法花虫の妙薬 一包代 六十四丸
製薬所 四谷信濃殿町土塀東側 瀧澤氏
弘處 元飯田町中坂下四方の向 たき沢氏

大父著作堂晩年ハ。千八耶振神田より。その呉竹の四ツ谷の里へト居せーより二十餘年。松風蘿月友とするのみ。那丁町ろ人所へハ。ハるく遠くあるる。厭ハで通ふハ板元の。此抄録ある故也。されバ製藥讀書の余暇。筆を把りーも茲ハ四五年。書讀む甲斐ハ拙くまゐ。なるハ此外ハも著述さんと思ふのもあるにハあらねど。まゞ若冠の初舞臺皇幕中ハ思惟れバ謂来と當を取るべにや。と吾あるる双意して。秘箧ハ藏めて人ハ示さゞ。さバ白魚の棲居ハ做んも。有繋ハ遺憾ある。ハあらゞ。今本編を抄録せー。序ハこのこと。紙ありひ出く。木ハ行を接ぐ両手。似げるに序文と笑ハせ。ハでなる長久ハ見ん。

曲亭琴童識

興良像賛

落魄余之七有種

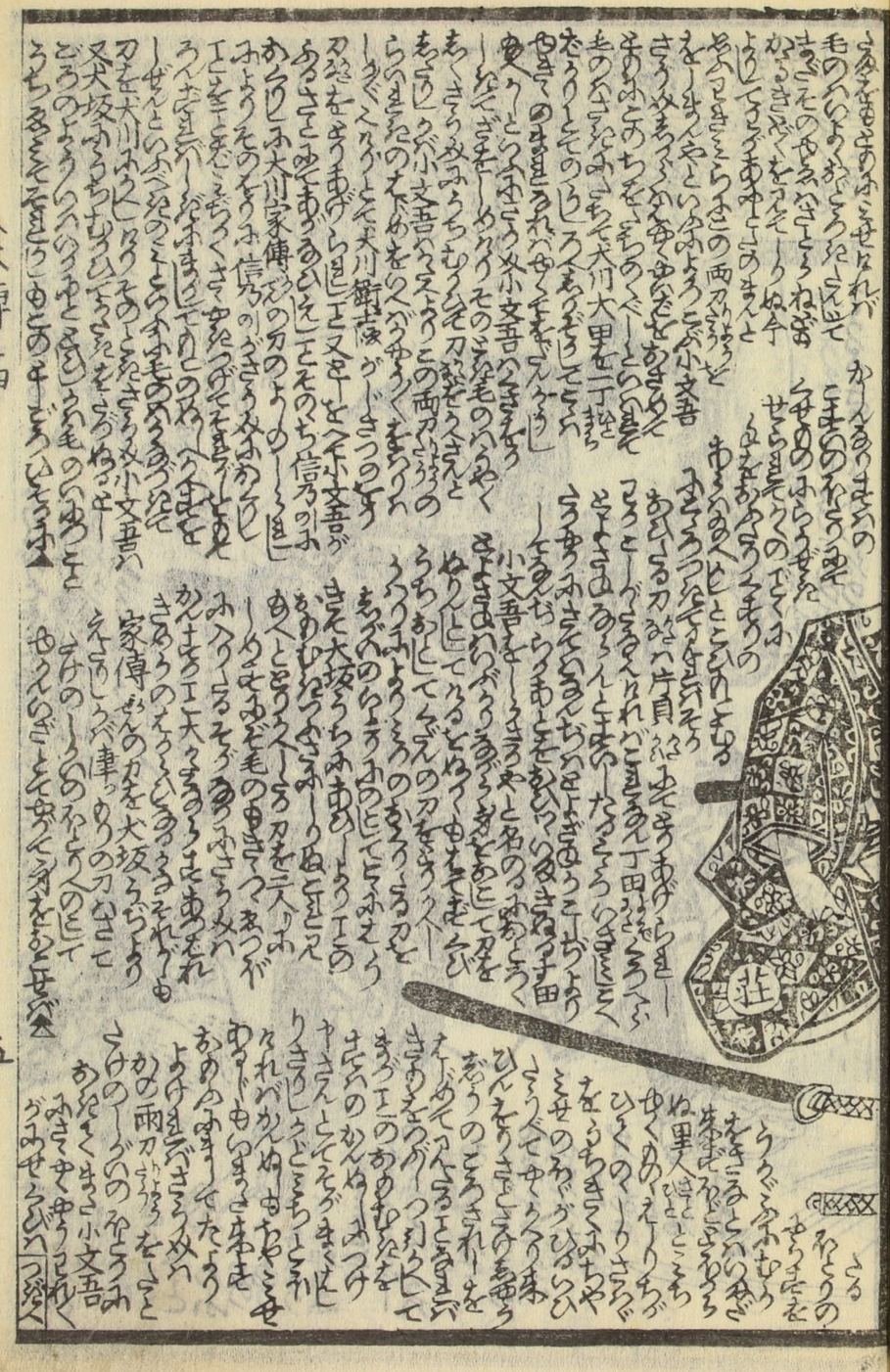
琴童

余之七妻

重戸

是上諏訪

つゞき



小
豊

琴童抄録　國芳畫

つぎさ

家傳神効湯　妙益のみち　猶奇の効能　一包代百銅

精製寺應丸　大包代一朱中包代一分五厘　小包代五分

熊胆黒丸子　一包代五分

婦人つぶ虫の妙薬　一包六十四銅　一包三十二銅

製藥本家　四谷ちやうす千日坂の上　瀧澤氏

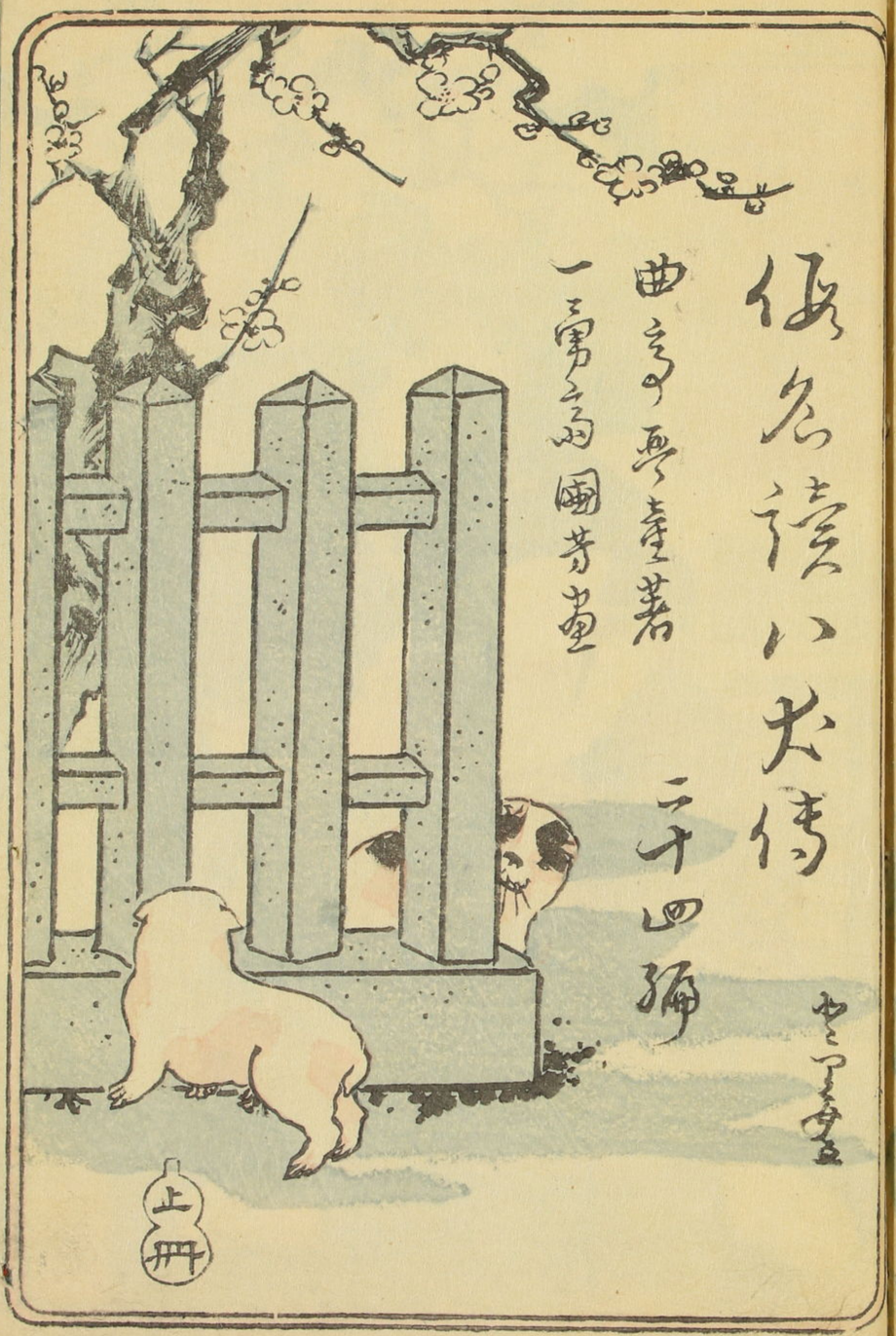
弘處　元飯田町中坂東側四方の向　九兵衛氏

仮名読八犬伝

曲亭馬琴著

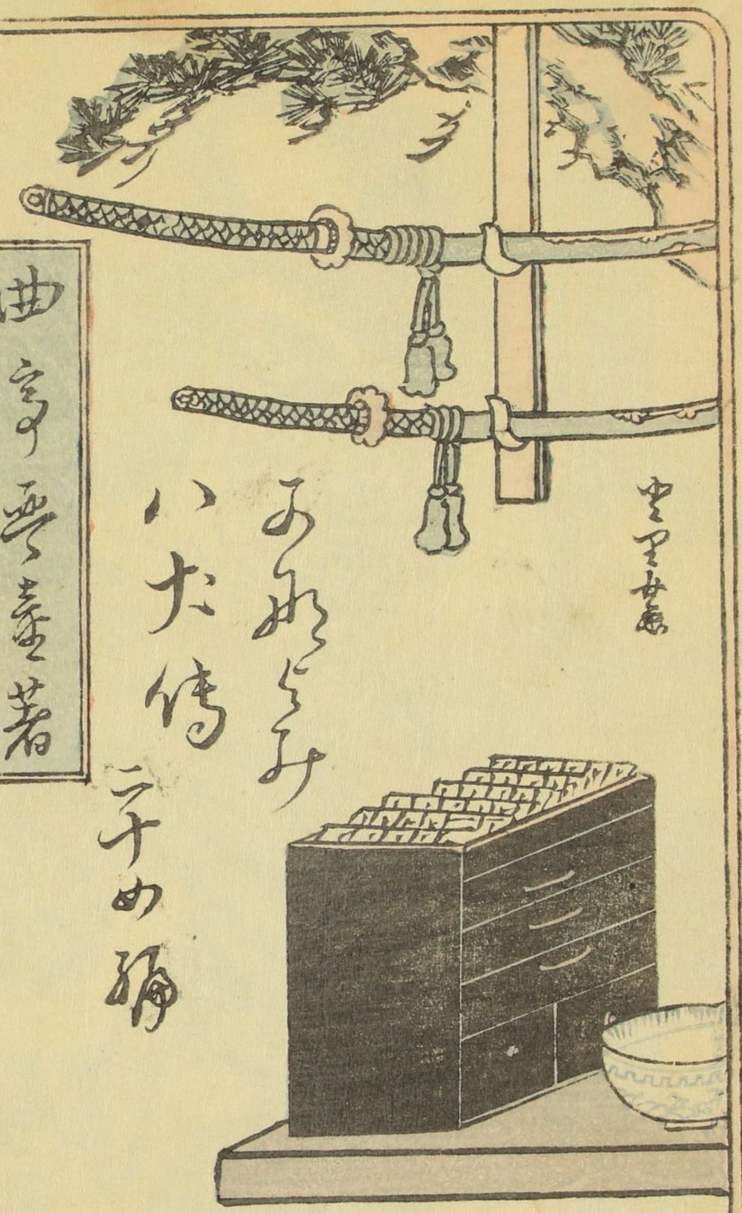
一雪斎国芳画

二十四編



上冊

嘉名与美
八犬傳巻之
二十四編
上冊
曲亭琴童著
一勇齋國芳画
下冊



あめとみ いだ侍

二十めの巻

曲亭馬琴著

一勇斎國芳画

下冊

上の巻よりいのらがわれんいを

▲つまひらろみごねきあ

八房の犬のこの犬の犬ぬ

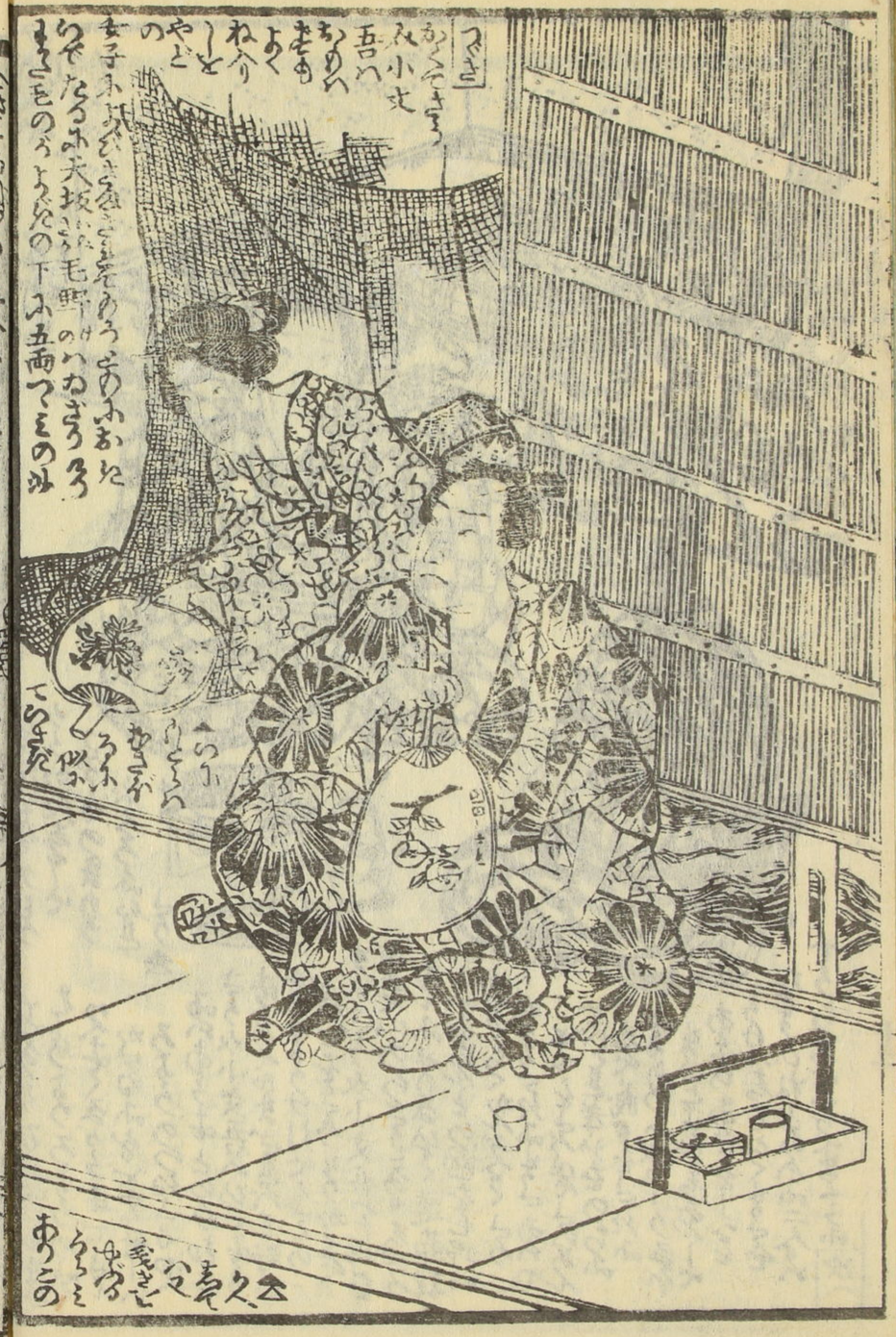
のもぎもいとこ

丈吾ひとそれが奇さ

流星ながれ

▲

荘
毛
小



凝成白露壬未金
環會流離從自然
山門の水

角
現

氷

つぎ　もろ〻おろかなる
ものとかたらんもうるさく
かなきうるさきうの百せうその
むまあらそ十人だらく〻ふ
く　ぞうそをひつさげたる
ひとりさけくちづけ
さるつこ
のう人ふ
大角と現八
がてまきこる
をそ〻くもこ出
ゑそごとどえさう
あまぬまん人ふ
ありあるみみづ
まるとのし
りそせんどを
あくそ上ケう
きのうあ
むや二天主ほ
をあつ手うあ
てうえとき
そをを大角
現八あど
ろた
あうう

現
角

角
重
明

曲亭琴童抄録

一勇齋國芳画